指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	出雲文化伝承館	施設所管課	文化スポーツ課
指定管理者	公益財団法人出雲市芸術文化振興財団	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 施設の管理状況について、清掃業務、各種点検業務等、適正に管理されている。また、適切な人員配置がなされている。縁結び交流館をはじめ出雲文化工房、出雲屋敷、出雲流庭園、茶室「松籟亭」、茶室「独楽庵」等があり、それぞれの施設の特色を生かして、展示会、音楽会、研修会、陶芸、写真撮影、茶会等幅広く利用されている。
	【改善すべき点】 集客の低下が継続的な課題である。施設内の食堂物販施設（そば処）の閉店による影響があったことは理解するが、テナントに依存する構造を打開し、本来の展示イベントの集客増に期待したい。HPやSNS等を活用した積極的な情報発信のほか、多くの客層にアピールするコンテンツの企画を期待したい。
指定管理者	【優れていると評価した点】 当館は開館から34年が経過し、施設・設備の老朽化も著しく、その維持費も増加傾向にあるため、日常点検に努め、計画的に修繕を行っている。また、新規利用者の開拓として、行政、観光協会、コミセン等との連携を図りながら、貸館利用と自主事業参加に繋げている。広報活動として、パンフレット配置先の拡大や、ホームページやSNSを積極的に活用し展示等の情報提供を行っている。
	【改善すべき点】 今後はさらに、観光拠点としても、行政や関係団体と連携のもと幅広く施設の有効活用に努めたい。今後も丁寧な対応と説明を心がけ、引き続きお客様に気持ちよく利用いただけるよう、また、新たなお客様を増やすよう努めていく。

2．施設利用について

総括	令和７年度の貸館事業利用者数は25,257人で前年度比2.5%の増でしたが、貸出回数は4%の減となりました。利用料金収入においては、5,913千円で前年度比8%の増となりました。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

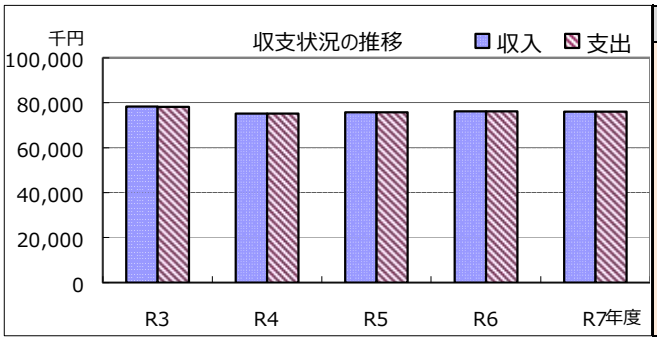
	項目	R3	R4	R5	R6	R7
施設の収支	収入	78,275	75,135	75,688	76,190	76,115
	うち指定管理料	67,017	65,292	64,557	61,875	61,710
	うち利用料	4,395	5,412	6,738	5,445	5,913
	その他	6,863	4,431	4,393	8,870	8,492
	支出	78,235	75,135	75,688	76,189	76,114
	差引	40	0	0	1	1

＜上記以外の市の収入、支出＞

（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
市の収支	収入（使用料）	4,200	1,025	1,200	900	3,000
	支出	773	2,420	1,782	3,686	1,484
	うち修繕費	399	1,682	800	2,656	998

※大規模修繕を除く

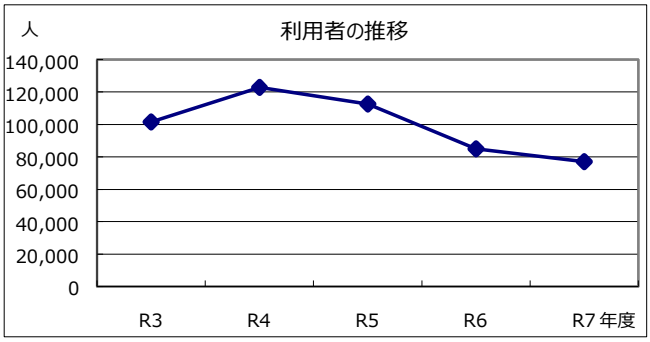


収入増・コスト削減に関する取組
できる限りの経費削減を図り、令和６年度と比較し支出額は減額した。経費削減に務め、支出は減額したが、雑収入の増加を図ることが出来なかった。令和8年度は利用料金収入のさらなる増収に努めたい。予算書の利用料金収入は達成でき、前年度と比較しても約８%の増であった。雑収入の不足を利用料金収入でカバーできるよう努力していく。

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	101,564	122,929	112,604	84,920	77,046



利用者の増に向けた取組・利用の動向
入館者数の減少は館内にあったそば処の閉店が影響を受けた。貸館利用者数は多数の参加が見込める催し物での利用が増加したことが要因の一つと考える。SNSではイベントや館内の景色など興味を持って見てもらえる内容を提供している。新規のパンフレット配置先を開拓し、市内の宿泊施設、店舗等とも連携を図っている。紙媒体、電子媒体での情報発信を継続し、館内各施設の特色を紹介し活用の提案を図る。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
アンケートを通年で実施したことや使用後の報告書のコメント、日常の会話等から常にお客様のご意見・要望等を収集し、随時対応している。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス				主な意見（問題点）・対応（効果）
3 件	①非常に良い	1	件	33.3 %	特になし。
	②良い	1	件	33.3 %	
	③ふつう	1	件	33.3 %	
	④悪い	0	件	0.0 %	
	⑤非常に悪い	0	件	0.0 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

ポスター・チラシ・ホームページ・SNS等による施設及び展示の紹介、新聞・ネット等を利用した広報活動を適宜行っている。特にホームページ、SNSにより積極的に情報発信を行った。パンフレットを配置していただける施設の開拓を行い、継続して配置してもらっている。在庫僅少となったときは連絡が伝承館に入るなど、連携関係を構築している。

3．自主事業について

総括	各種教室、講座等を開催し、伝統文化の継承や芸術文化の振興を図った点は評価できる。継続的に開催され定着しているイベントも散見され、持続的な取組が結実している点も評価できる。
実施状況	一般対象とした出雲流庭園講座、お屋敷でクラシック、陶芸教室、掛軸の取り扱い方教室、子どもを対象とした陶芸教室の6つの教室・講座を開催し、伝統文化の継承や芸術文化の振興を図りました。のべ107人の参加者がありました。

4．施設の維持管理・安全対策について

定期点検や修理の際、業者より日常管理の方法及び故障時の対応などについて情報交換を積極的に行っている。これにより日常の管理、故障時の対応が良好に行われている。職員による巡回を行い、危険個所や破損個所の発見及び修繕、事件・事故の発生防止に努め、安心して利用していただける施設となるようにしている。修繕などの対応のほか、気づいた点を朝礼などを利用し職員間で共有している。館から離れた場所にある北駐車場も定期的に巡回点検を行っている。

5．職員（従業員等）の接遇・研修について

身だしなみに注意し、電話や窓口などでの応対も適切に行い、お客様に気持ちよく利用していただけるよう心掛けている。質問への回答、施設案内なども行っている。